

46

刀（銘・兼常）^{かね つね}

（岐阜県重要文化財）

春日神社に伝わる刀の1つです。全体の長さが70cmある刀で表側に「濃州関住兼常」、裏側に「文禄五年一二月吉日」の銘があるので、兼元（孫六）・兼定に次ぐ、関を代表する名工である兼常の作（文禄5年（1596））であることがわかります。刃文は湾刃^{のたれば}で、優美さの中に豪壮さがある刀です。

豆知識

刃文一刀身に入れられた波文様のことをいいます。^{やきば}焼刃土で覆い、焼き入れをすることによって現れます。日本刀に独特な美しさを与えます。

湾刃一刀文の一種で、波のうねるような刃文のことです。

関の文化財探訪

その26

46 47

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎ 46-2313

47

刀（銘・清宣）^{きよ のぶ}

（岐阜県重要文化財）

春日神社に伝わる刀の1つです。全体の長さが70.4cmある刀で表側に「奉籠春日大明神 美濃関備中守藤原清宣」、裏側に「万治三年庚子二月吉日」の銘があります。万治3年（1660）に江戸時代初期の関鍛冶を代表する刀匠・清宣が作ったものです。刃文は直刃で、豪壮さの中に佳麗さを秘めた刀です。

アクセス

長良川鉄道・刃物会館前駅から徒歩約5分
東海北陸自動車道関ICから車で約10分

広報せき No.1615 2012.9.1

発行／岐阜県関市 編集／秘書広報課 〒501-3894 関市若草通3丁目1番地 ☎ 0575-22-3131 ㊚ 0575-23-7744

E-mail hishokoho@city.seki.lg.jp ホームページ <http://www.city.seki.gifu.jp/>

「広報せき」は、ボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある方に音訳（朗読）テープと点字による広報をお届けしています。